

# おくすり手帳の『い』い話

岩美病院薬剤部 主任薬剤師 濱田 生子



おくすり手帳を活用する際は、以下の5つの『い』いことを覚えておいてください。

- 『医』療機関にかかるときは、必ず持つていきましよう。
- 薬の重複や、よくない飲み合わせ、

皆さんはもう、おくすり手帳をお持ちですか？  
最近、おくすり手帳を提示される方、作ってほしいと言われる方が増えてきたように思います。

すでにおくすり手帳をお持ちの方にも、そうでない方にも、改めてその必要性と活用方法についてお伝えします。

おくすり手帳は、いつ・どこで・どんな薬を処方してもらったかを記録しておくための手帳です。この記録があると、医師・歯科医師・薬剤師に、自分の使用している薬の名前を正確に伝えることができます。

複数の医療機関を受診するときはもちろん、転居したとき、旅行するとき、薬局で薬を購入するとき、休日診療所・救急病院を受診するとき、災害にあつたときにも、おくすり手帳は役に立ちます。

地域に密着した医療を目指して

問い合わせ先  
岩美病院 事務局  
☎73-1421

同じ薬による副作用の再発を未然に防止できます。

○『言』いたいことや、伝えたいことを書いておきましょう。

体調の変化や気になったことを書いておきましょう。

○『一』般用医薬品（市販の薬）・健康食品も記録しておきましょう。

思いがけない、よくない組み合わせ・食べ合わせが見つかることがあります。

○『い』つも携帯・いつも同じ場所に保管しましょう。

ご家族にも、おくすり手帳を持っていることを知らせておきましょう。

○『一』冊にまとめましょう。

病院や薬局ごとに別々のおくすり手帳を作らないようにしましょう。

## 岩美病院からのお知らせ



ご家族の方以外の  
面会時間は、

**午後1時～午後8時**

です。

午前中は処置など行っているためです。  
ご協力お願いします。



## 10月17日～23日は『薬と健康の週間』です。

医薬品を正しく使用することの大切さ、そのために薬剤師が果たす役割の大切さを一人でも多くの方に知ってもらうために、積極的な啓発活動を行う週間です。

薬剤師会では、この時期に合わせて毎年イベントを行っています。今年も10月20日（日）、午前10時～午後4時まで、さざんか会館にて行います。

今回は、おくすり手帳の普及と在宅介護に重点を置いた内容になっており、おくすり手帳を大切に使うために、おくすり手帳カバーを飾り付けするコーナーもあります。

その他にも、健康増進のためのノルディックウォーク体験、在宅介護ルームの展示、参加体験コーナーとして調剤体験、スライム作りやお薬相談コーナーもあります。

どなたでもご来場いただけますので、興味のある方は、ぜひお越しください。

